

人とロボットの業務連携を支援する



実行指示クライアント



自動化シナリオの即時実行性が向上し
RPAの容易な展開を実現します。

対応RPA

Autoジョブ名人 Ver.2.0~

Autoブラウザ名人 Ver.8.0~

自分のPCからRPA実行用端末に対し、即時で実行指示が行えます。

- 部署や担当者ごとにRPA（実行版）を置く必要がなく、展開コストが抑えられます。
- クライアントごとに実行権限の設定ができ、管理用サーバーなどが不要となります。

RPA 展開時の 悩み

- ・運用管理システム及び専用サーバーは高く導入できない。
- ・全社的にRPAを展開したいが、ライセンス費用が膨らむのがネックになっている。
- ・自分のPCではなく、複数人でRPA実行用のPCを共有したい。
- ・誰にでもRPAの開発や実行をさせたくない。許可されたシナリオだけを実行させたい。
(野良ロボの発生を防止したい)

実行指示クライアントの利用イメージ

実行指示クライアント

RPA実行端末

Autoジョブ名人 [開発版/実行版]
Autoブラウザ名人 [開発版/実行版]

ECサイトから受注データをダウンロードを指示。



実行指示



●ECサイト巡回ロボット

入力元となるデータをEXCELで用意。
あとはRPAにお任せ！



実行指示



●基幹システムへのデータ入力ロボット



あとは私に任せて！



RPAに任せる仕事の準備ができれば自分のPCから実行指示できます。

スケジュール化されたジョブとともに実行指示されたジョブが順次実行されます。

システム概要

1. RPA（開発版/実行版）側での実行権限の設定

Autoジョブ名人/Autoブラウザ名人

開発版/実行版



実行指示

クライアント管理コード	クライアント端末ID	選択
101	TestClient01	<input checked="" type="checkbox"/>
201	TestClient02	<input type="checkbox"/>

① 実行指示クライアントの端末IDを登録

スクリプトコード	スクリプト名	許可
1	受注データダウンロード	<input type="checkbox"/>
2	発注データ入力	<input type="checkbox"/>

② 端末IDごとにスクリプト実行できる権限を設定

③ 「実行指示処理履歴」画面で実行状況の照会が可能

2. 実行指示クライアント側での操作



実行指示クライアント

スクリプトコード	スクリプト名	最終実行指示日時
1	受注データダウンロード	2019/07/17 17:30:13
2	発注データ入力	2019/07/17 17:31:29

① 実行したいRPAを選択（接続先選択）

② 実行可能なスクリプト一覧を表示

③ スクリプト実行を要求

実行指示したスクリプトは順次RPA側で処理されます。
実行結果の通知が必要な場合は、メール送信などの処理をスクリプトに設定してください。

価格（税別）

品名	1年ライセンス	5年ライセンス
実行指示クライアント	24,000	108,000

動作環境

OS	Windows 10 Pro/Enterprise (32bit/64bit) Windows 8.1 Pro/Enterprise (32bit/64bit) Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 ※64bitOSは、Intel64、AMD64に対応。IA64は不可。 ※実行指示クライアントのインストールにはAdministrators権限が必要です。
メモリ	実行指示クライアント分として、1GB以上確保することを推奨します。
その他	DVDドライブ必須（インストール時） .NET Framework 4.5 必須（製品ディスクに同梱）

※記載の情報は予告なく変更する場合があります。最新情報は当社Webサイトをご覧ください。

■ソフト開発・総発売元

■お問い合わせは

あなたの満足が私たち名人の誇りです
ユーザックシステム株式会社

東京：TEL 03-6661-1210 大阪：TEL 06-6228-1383
https://www.usknet.com/ meijin@usknet.co.jp